

埼玉大学学術情報発信システム (SUCRA)と地域連携の可能性

アドレス http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/

SUCRA 埼玉大学学術情報発信システム
Saitama University Cyber Repository of Academic Resources

SUCRA 埼玉大学学術情報発信システムは、埼玉大学の学術成果を広く世界へ発信しています。
「さくら」と呼んでください。ロゴマークは、さいたま市に自生するサクラソウをモチーフにしています。

SUCRA検索

全て
検索 詳細検索

インデックスツリー

open all close all

Public

- Public
- 教養学
- 教育学
- 経済学

埼玉大学学術情報発信システム SUCRA

SUCRAは、埼玉大学に在籍する研究者の学術雑誌掲載論文、紀要論文、科学研究費補助金成果報告書、学位論文、学会発表予稿・スライド、電子教材などを登録し公開するため、平成18年7月構築に着手し、平成19年3月から試験公開しています。

埼玉大学に在籍する皆様は、著作物をSUCRAに登録することができます。詳しくは、[サクラソウの登録ガイド](#)をご覧ください。

SUCRAについて

- SUCRAの概要
- SUCRA運用指針

最新ニュース

埼玉大学総合研究機構研究プロジェクト発表会のポスター資料を掲載
の登録文献が国立情報学研究所のJnii+（機関リポジトリ）
に掲載されました。（2007-9-11）
（2007-9-20）





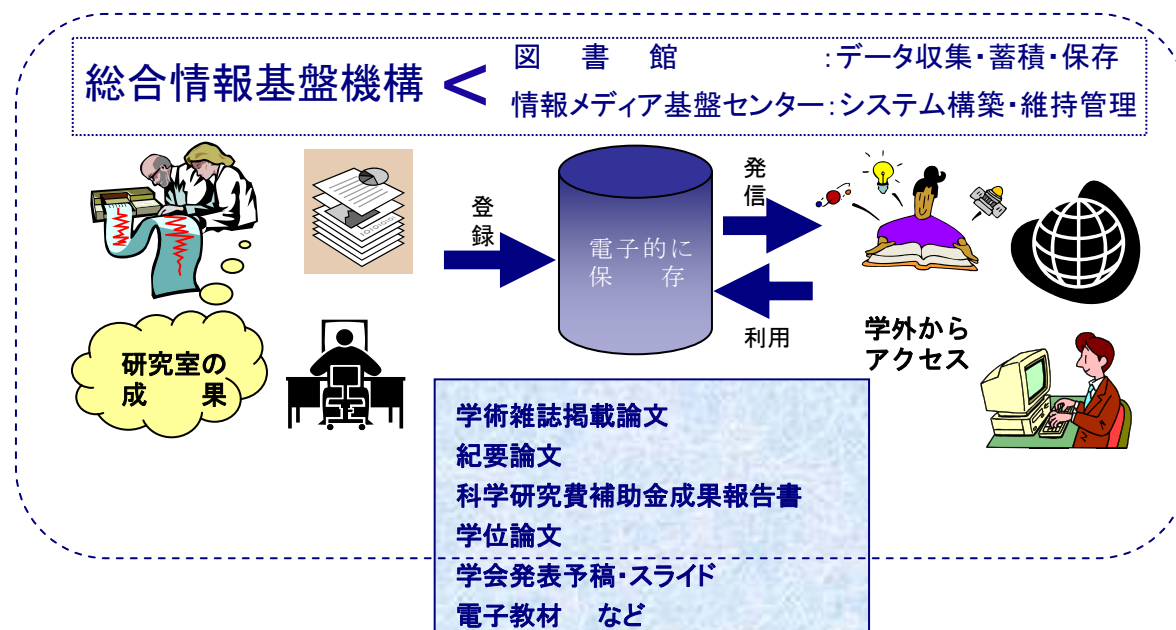
埼玉大学学術情報発信システム

SUCRA : Saitama University Cyber Repository of Academic Resources



SUCRA は、本学の学術成果を、収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で学内外へ、さらに広く世界へ発信するシステムです。「さくら」と呼んでください。ロゴマークは、さいたま市に自生するサクラソウをモチーフにしています。

埼玉大学に在籍する研究者の学術雑誌掲載論文、紀要論文、科学研究費補助金成果報告書、学位論文、学会発表予稿・スライド、電子教材などを登録し公開するため、平成18年7月構築に着手し、平成19年3月から試験公開しています。埼玉大学総合情報基盤機構が運用を担当しています（図書館：データ収集・蓄積・保存、情報メディア基盤センター：システム構築・維持管理。）



SUCRA構築の背景

埼玉大学の中期計画 (平成16年度～)

研究情報・知的情報の一元化・
データベース化及び社会への公開

「積極的に社会と連携することにより、教育研究の成果社会に還元することを目標にする。」
「産学官の連携を積極的に推進し、研究成果の社会還元を通じて地域社会を通じて地域社会の活性化を図る。」
「大学の持つ知的情報を一元的に把握し、データベース化を推進し、社会の求めに応じて情報を適切に加工して提供するなど、大学と社会の間のインターフェース機能を持った組織を設置する」

国立情報学研究所の CSI事業

(平成17年度～平成19年度?)

機関リポジトリの構築・支援を目的とした委託事業
埼玉大学は平成18年度から採択

SUCRAによる情報発信

- ・平成18年7月構築に着手
- ・平成19年3月試験公開
- ・平成19年度中に本格運用開始

平成18年度

- 7月28日 NIIへ「業務計画書」提出
- 8月 1日 SUCRA構築作業部会第1回会合
- 8月 1日 リポジトリソフト(XooNlps)試行開始
- 9月14日 SUCRA構築作業部会第2回会合
- 9月21日 先行機関見学会(慶應・三田)
- 9月28日 SUCRA構築作業部会第3回会合
- 10月16日 学内学術論文リスト作成完了
- 10月19日 18年度第2回総合情報基盤機構会議
(学術情報専門委員会設置要項の承認)
- 11月13日 第1回学術情報発信専門委員会
- 12月 8日 学内学術論文リストによる提供依頼開始
- 1月15日 学内学術論文リストによる提供期限
- 1月23日 SUCRA構築作業部会第4回会合
- 2月 2日 第2回学術情報発信専門委員会
- 2月16日 SUCRAサーバ搬入
- 2月19日 NIIへ「委託事業報告書」提出
- 2月～ 派遣職員によるデータ入力・登録作業
- 3月 SUCRAパンフレット作成
- 3月20日 SUCRA試験公開開始

平成19年度

- 4月～ 19年度委託事業開始
- 4月～ 派遣職員による許諾依頼・登録等作業
- 4月19日 NIIへ「委託業務完了報告書」提出
- 4月19日 NIIへ19年度「業務計画書」提出
- 5月 7日 日本機械学会掲載論文登録許諾依頼
- 6月 5日 科研費報告書登録許諾依頼開始
- 7月30日 H19第1回学術情報発信専門委員会
- 9月11日 SUCRA登録文献が500件を突破
- 10月18日 JuNii+からのハーベストに成功

平成19年中に登録文献数1000件突破予定

SUCRA本格運用の開始！


[SUCRA] - Xoonips - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

Google 検索 ブックマーク PageRank ポップアップを許可 チェック 翻訳 次へ 設定

アドレス http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/ 移動



埼玉大学学術情報発信システム

Saitama University Cyber Repository of Academic Resources



SUCRA 埼玉大学学術情報発信システムは、埼玉大学の学術成果を広く世界へ発信しています。
「さくら」と呼んでください。ロゴマークは、さいたま市に自生するサクラソウをモチーフとしています。

SUCRA検索

全て

検索 詳細検索

インデックスツリー

open all close all

Public

- Public
 - 教養学部(105)
 - 教育学部(106)
 - 経済学部(27)
 - 理工学研究科(625)
 - 機構・センター(5)
 - その他(8)
 - ジャンル別
 - Binders

埼玉大学学術情報発信システム SUCRA

SUCRAは、埼玉大学に在籍する研究者の学術雑誌掲載論文、紀要論文、科学研究費補助金成果報告書、学位論文、学会発表予稿・スライド、電子教材などを登録し公開するため、平成18年7月構築に着手し、平成19年3月から試験公開しています。

埼玉大学に在籍する皆様は、著作物をSUCRAに登録することができます。詳しくはこちらをご覧ください。=>
SUCRAパンフレット(PDF)

最新ニュース

- 埼玉大学総合研究機構研究プロジェクト発表会のポスター資料を掲載しました。(2007-11-7)
- SUCRAの登録文献が国立情報学研究所のJuNii+(機関リポジトリポータル)から検索できるようになりました。(2007-10-25)
- 登録文献数が500件を超えました。(2007-9-11)
- 試験公開開始しました。(2007-3-20)

Article

関連論文

SUCRAについて

- SUCRAの概要
- SUCRA運用指針
- Operational Guidelines for SUCRA

リンク

- ・ SUCRAトップページ
- ・ 埼玉大学
- ・ 埼玉大学図書館
- ・ JuNii+
- ・ 学術機関リポジトリ構築連携支援事業
- ・ 日本の機関リポジトリ一覧
- ・ 海外の機関リポジトリ一覧

SUCRAログイン

ユーザ ID

パスワード

ログイン

パスワード紛失

新規登録

インターネット

<http://sucra.saitama-u.ac.jp/>

ID	P0000026
アイテムタイプ	Article
このアイテムを表示する	<div>本文</div> <div>P0000026.pdf</div> <div>Type : applica</div> <div>Size : 8.6 MB</div> <div>Last updated : Nov 9,</div> <div>Downloads : 10</div> <div>Total downloads since N</div>
タイトル	恐山と北方の日本：生きる意味と死ぬ意味
別タイトル	Osore-zan and the Northern Japan
著者	<div>三浦, 敦(Miura, Atsushi)</div> <div>埼玉大学教養学部教養学科 University)</div>
日付	<div>出版年 : 2007 - 2007</div> <div>作成日 : 2007-11-9</div>

A cyanobacterial gene encoding an ortholog of Pirin is induced under stress conditions.

Yukako Hihara^{a,*}, Masayuki Muramatsu^{a,1}, Kinu Nakamura^a and Kintake Sonoike^b

^aDepartment of Biochemistry and Molecular Biology, Faculty of Science, Saitama University,

Shimo-Okubo 255, Saitama-shi, Saitama 338-8570, Japan, Tel: +81-48-858-3396, E-mail:

hihara@molbiol.saitama-u.ac.jp (Y.H.), kk47518@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp (M.M.),

kinu@molbiol.saitama-u.ac.jp (K.N.)

平成 8 年度照明学会全国大会

289

175. ポリクロメータによる光源色の測定

中川 靖夫 大久保 和明 大嶋 浩正
(埼玉大学) (松下電器産業(株)) (大塚電子(株))
須山 恵司 大倉 力
(浜松ホトニクス(株)) ((株)オプトリサーチ)

1. まえがき 近年、回折格子とフォトダイオードアレーを組み合わせて、複数の波長を同時に測定するポリクロメータが開発され、分光測定が短時間に行えることから光源色の測定にも広く用いられている。日本色彩学会JIS Z 8724「光源色の測定方法」改正原案作成委員会は、JISの改正に伴い、分光測色方法の一つとして新たにこのポリクロメータによる分光測色方法の採用について検討した。その結果、この目的のために十分な性能が得られることが明らかとなったので報告する。

2. 検討内容 現行JISでは、分光測色を行うための分光測光器の性能条件として、波長目盛の精度、入出力の直線性、迷光の3つの条件を規定している。これについて、表1に示す仕様のA、B二社の測色用ポリクロメータの性能を調査した。その結果、表2に示すように、現行JISの条件を十分満足していることが明らかとなった。ポリクロメータでは一般に、測定波長帯域幅、測定波長間隔が、分光データを色計算する場合に必要な5nm

■ 恐山と北方の日本 ~ 生きる意味と死ぬ意味

■ 恐山信仰

・死者の赴く山、恐山

青森県下北半島の恐山は「死んだらお山に登る」と死者の赴く地として知られ、毎年7

月になると、多くの参拝者が訪れる。

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

・死者の赴く山、恐山

■ 北方日本と恐山

・交易の中心地として栄えた北東北

恐山信仰が全国的に知られるようになるのは、江戸時代の北陸商人の活躍です。江戸時代には北東北は、西廻航路、東廻航路、蝦夷航路の3つの結節点として栄え、物流の中心として多くの北陸商人がやってきました。恐山は彼らの信仰を集めたのです。

・アジアの中の北東北～津軽安藤氏の活躍

北東北が交易で栄えた理由の一つが、中世の津軽安藤氏(安東氏)の活躍です。奥州藤原氏など東北の豪族は古代から交易で栄えてきましたが、鎌倉・室町時代に津軽半島の十三湊を拠点にした津軽安藤氏も、蝦夷から樺太(さらに沿海州)まで影響力を及ぼし、東北から九州までの日本海の海上交易を支配しました。こうして、千島から本州、南西諸島を経て中国・東南アジアに至る大交易ルートが生まれ、その経済ルートの中で恐山信仰も発展したのです。

■ 恐山をめぐる生と死

・生の儀礼と死の儀礼～重層的な恐山信仰

恐山信仰は一つの信仰ではなく、複数の信仰が重なりあったものです。その中心には、地元の人々の地蔵講による参詣りと秋詣りを中心とした生の儀礼。そして東北各地や全国の恐山講も参加して、夏の大会を中心とした死の儀礼があります。そしてその周囲に、イタコの口寄せや地蔵信仰、修験道があります。

・死者を悼む、死者に出会う

釜淵寺地蔵堂は地蔵堂です。この地蔵堂の傍の奥の奥には、小さな子供を亡くした親たちがおいて、子供の形見や写真がところ狭しと奉納されています。こうした親たちは死んだ子供に会うために大祭にやってきて、そして甕坊に泊まり盆踊りを踊ります。この甕坊では、冬に甕に出会った人も沢山います。

・なぜ恐山か

・なぜ恐山か

・なぜ恐山か

・なぜ恐山か

・なぜ恐山か

・なぜ恐山か

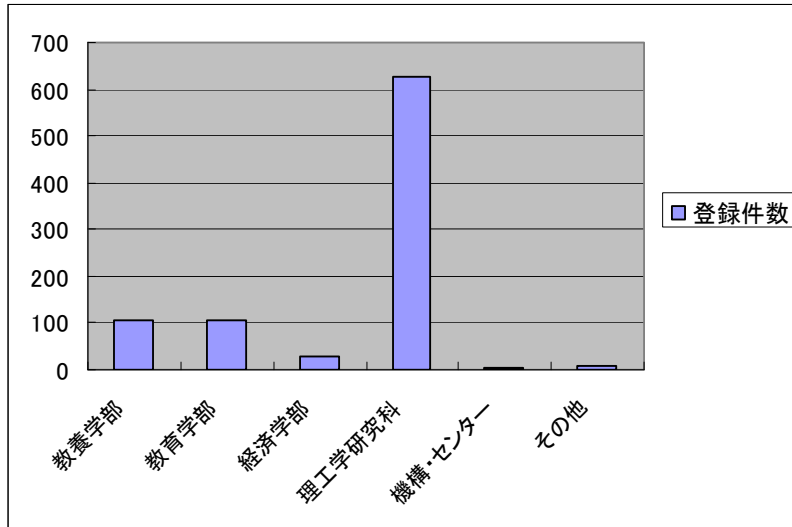
・なぜ恐山か



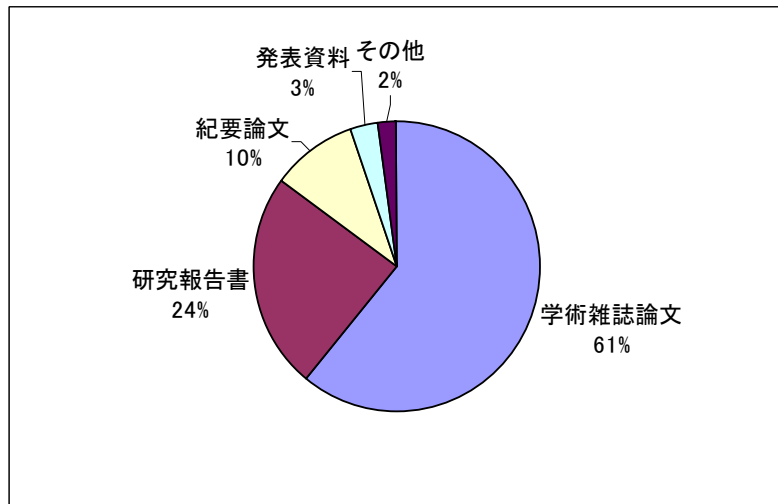
シャーマンであるイタコ(イタコ)の姿

SUCRAの現況(学部別、ジャンル別)

平成19年11月26日現在



	登録件数
教養学部	105
教育学部	106
経済学部	27
理工学研究科	625
機構・センター	5
その他	8
合 計	876



	登録件数
学術雑誌論文	532
研究報告書	212
紀要論文	85
発表資料	29
その他	18
合 計	876

コンテンツ拡大のために（数々のハードル）

データベースに本文を登録するためには、著作権者（著者、出版社等）の許諾が必要

1. 学術雑誌論文

学術論文の著作権は一般的に出版社や学会が保有

- ① 電子ジャーナルのPDFファイルの複製公開を認めている。
- ② 著者自身が作成した投稿原稿ファイルの公開を認めている。
- ③ 大学サイトでの公開を認めていない。

⇒ 学術情報流通のあり方。大学、研究者、学会、出版社の利害関係

2. 科学研究費報告書

さまざまな文献が混在し、著作権許諾の処理が複雑

⇒ 報告書出版のあり方。電子化公開の制度・義務付け

3. 学内生産論文（紀要論文・学位論文等）

包括許諾、文献入手のためのシステムづくり

⇒ 学内体制の必要性。成功すれば一気にコンテンツの量的拡大も

4. 発表資料・教育資料等

教員に個別にアプローチ。アンケート調査など

⇒ オリジナルコンテンツの発掘。新たな情報発信の可能性

SUCRAの機能・役割

機関リポジトリは何の役に立つのか

1. 学術論文のオープンアクセスの促進
2. 学内出版物のデジタル化の促進
3. グレーリテラチャの公開の促進
4. 隠れた研究成果・教育成果の発見とその公開
5. 埼玉大学のアピール
6. 地域連携のための器

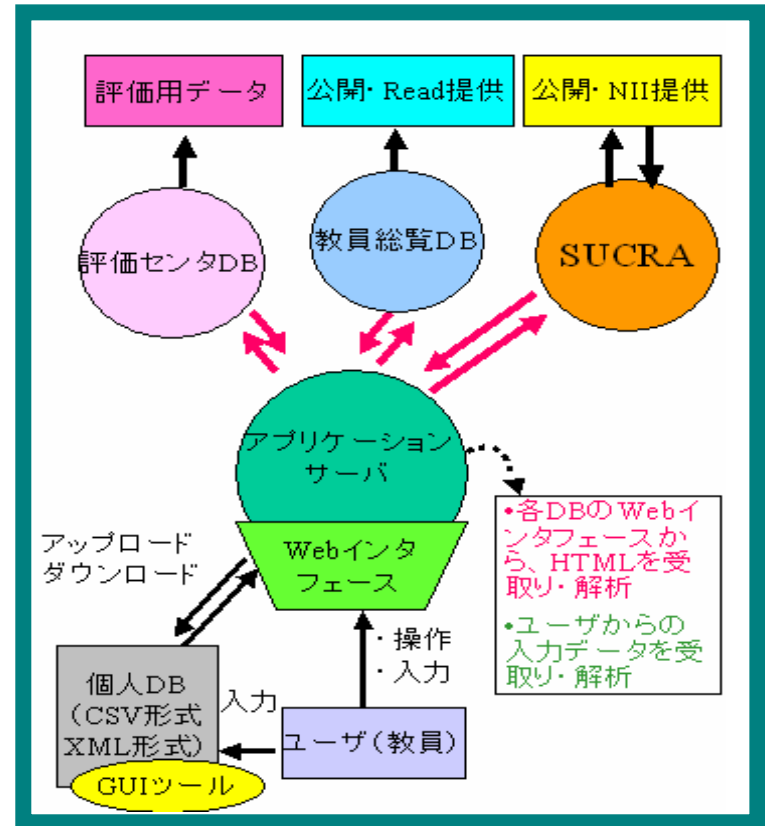
SUCRAのシステム

リポジトリソフトウェアに国産オープンソース
XooNlps(ズーニプス)を採用

教員総覧・教員活動報告データベース
との連携(計画段階)

XooNlps本体+Libraryモジュール

- XooNlpsは、理化学研究所で脳・神経系に関する研究データを収集・蓄積・共有することを目的として開発されたオープンソースソフトウェア
- 論文、実験データ、数理モデル、シミュレーションプログラム、結果のデータやグラフ、URLなど電子情報を含めた様々な研究資源をインターネットによって共有することが可能
- 検索、登録、査読、OAI-PMH等の機関リポジトリとしての基本機能を網羅
- 慶応義塾大学において図書館の機関リポジトリとして利用するために必要なアイテムタイプモジュール(XooNlps-Libraryモジュール)を開発
- 少ない費用でシステム構築が可能



XOOPSが基盤

機能拡張が容易

XooNlpsベースでのメタデータ
共有システム開発

地域連携事業の可能性

機関リポジトリから地域リポジトリへ

- 各館所蔵資料の共同利用(拡大)
- 直接来館サービスの改善(手続きの簡素化など)
- 非来館型サービスへの対応(範囲の拡大)
- 情報発信システムの構築(共同事業化)**
- 資料の共同保存(重複資料の整理)
- 各種公開事業(展示会、シンポジウム、講演会など)
- 職員の能力開発・人材育成(研修会等)

地域リポジトリによる情報発信

相互協力・情報サービスの変化

これまでの
相互協力サービス

(から)

新たな情報資源提供
サービスの展開へ

- 各図書館が所蔵する資料の共同利用
- 各図書館所蔵資料の大半は公刊の資料(=他の図書館でも所蔵できる資料)
- 印刷(製本)資料主体

- 特定の図書館だけが所蔵する資料の提供も対象に
 - ・貴重書
 - ・研究成果(原論文等)
 - ・教育成果(講義資料など)
- 電子的情報資源の提供(IT活用)

地域連携リポジトリの事例

- ゆうキャンパスリポジトリ（大学コンソーシアムやまがた）
- 広島県大学共同リポジトリ
- 岡山県立図書館デジタル岡山大百科と岡山大学学術成果リポジトリの連携
- 長崎大学、名古屋大学



SUCRAの将来



- 教員情報、業績情報、機関リポジトリの統合
⇒ ワンライティング・ワンストップサービス
- オリジナルコンテンツの拡大による新しいタイプの情報発信システム
- **地域連携の器としてのSUCRA ⇒ 地域共同リポジトリの立ち上げ**
- 進化・変貌するSUCRA ⇒ 予測不能

